

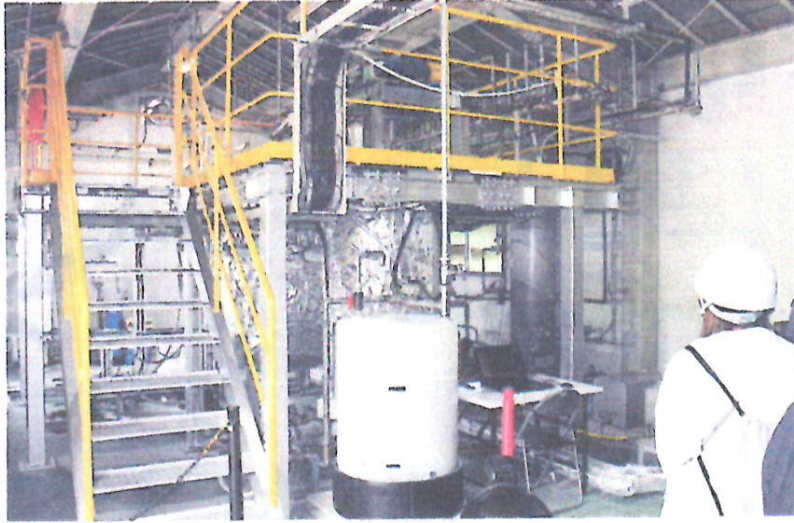
温泉加温装置は「脱炭素」

アルハイテック 廃アルミから水素製造

アルミからの水素生成技術を持つベンチャー企業のア
ルハイテック（富山県高岡市）は、廃アルミから作
った水素を基に温泉を加温するシステム「温泉パッ
ーシ」を完成させた。化石燃料と二酸化炭素（CO₂）
の削減を売りに全国の温泉施設や工場などへの展開を
目指す。二十四日に一号機が設置されている同市内の
リゾート施設で記念式典とお披露目が行われた。

（網信明）

高岡の保養施設に設置



同社は、アルミ缶や工場か
ら出るアルミくずなどに、繰
り返し使える特殊なアルカ
リ性溶液を反応させて水素
を作る技術で特許を持つ。シ
ステムは、製造装置から生成
した水素をボイラーに供給
して燃焼させ、温泉を加温す
る仕組み。一時間あたり約八
割のアルミ切り粉を装置に投
入することで三〇度の源泉
を四五度に上げられるとい



①ボイラーの燃料となる水素を製造する装
置 ②完成を祝いテープカットする出席者
＝いずれも富山県高岡市福岡町五位で

同市福岡町五位のリゾート
施設「モン・ラック タカオ
カ」内の温泉宿泊施設に二〇
二二年度、新エネルギー・産
業技術総合開発機構（NEDO）
の助成を受けてシステム
を設置。施設を運営する北陸
ミサワホーム（金沢市）の協
力で研究開発していた。
式では、アルハイテックの
水木伸明社長や来賓ら九人
がテープカットをして祝っ
た。
水木社長は「社会の脱炭素
化に貢献し、新たなビジネス
モデルを構築したい」などと
意欲。北陸ミサワの林論高社
長は「夢のような話で今後が
楽しみ」と喜び、来賓の坂井
彦就・全国旅館ホテル生活衛
生同業組合連合会副会長も
「クリーンに温度が上げられ
れば素晴らしい。実用化され
れば業界には朗報」と期待し
た。
アルハイテックは北陸ミサ
ワなどと連携。当面は、関心
を示す先にシステムを持ち込
んで利用料を得る初期投資が
かからない手法で普及を目指
し、販売展開へとつなげる方
針という。